

Q1.研修について 1.十分理解できた 2.ほぼ理解できた 3.あまり理解できなかった 4.全く理解できなかった	Q1-2.具体的に	Q2.今後希望する研修など
2	中々難しい内容でした。認知症というものが、それだけ奥が深いと痛感しました。どうしても主観的な見方をしており、当人の主観や考えに頭を向けていってなかったと分かりました。今後の自分に活かしていけるように更に勉強したいです。	
2	認知症の人である前にひとりの人。困った人ではなく困っている人。特異な言動ではなく必死の末の当然行為であること。自分の捉え方を変えると認知症の方の真の姿が分かると気付かせていただきました。ありがとうございました。	介護に関わる年数が多くなるにつれ、忘れがちなことを気付かせていただける機会が欲しいです。
3	思考展開シートの記入方法が難しかった。記入例があると良いと思った。 花びらの説明や考え方はとてもいいと思いました。 「認知症の方の内的世界を一人称で語ってみましょう」は事務所に持ち帰り、スタッフとやりたいと思います。	介助方法(新しい) (数年で介助方法も変わっていくため、昔とは違う介助方法や介護技術を知りたい)
1	デイに就いて半年、少し慣れてきたところで自分が施している認知症ケアについてどんなことを決めつけ、バリアにしているのかを振り返ることができました。ご利用者様が体験している生活のみで、考えるにはどのような専門性を持って務めればいいのか努力していきたいと思います。	
2	今まで考えてきた認知症の方への考える方が、とても浅い認識だった事がわかりました。	
2	「捉え直し」という考え方が参考になりました。問題行動と考えるのではなく、起こるべくして起こる事。意味不明な行動や言動を捉え直して、その方に寄り添って本人と話すことで解決できるように取り組んでみたい。心理的ニーズを満たせるようにがんばりたいです。	
2	認知症の人の気持ちになる一人称をやってみて、今まで自分がしていたこと、言っていたことを利用者の方にこんな気持ちにさせていた事に気付く事が出来て大変よかったですと思いました。	
	認知の症状は人それぞれでどうしたら良いのか分からなくなった。対処の仕方を知りたくて参加しましたが、冒頭で先生の言われた基本的に考え方が重要が少し理解したように思います。長年しみついた思考のクセを直していけるようにしたい。	
2	☆スイッチは言葉に出してはいけない。ロボットではありません。人間です。看護部長にいつも言われていたので、この言葉が出た時はすごく残念でした。 利用者様の気持ちになると理由が分かりました。徘徊や暴力の問題行動とするのはいけないと思いました。明日から仕事場に戻り、今日聞いた研修を忘れず利用者様の気持ちになりケアをしていきたいと思いました。(ひもとき、心理的ニーズを行う事) 今日は自分が今までしていたケアで反省することも多く、自分が認知症のことを理解していないことを改めて気付きました。	またこのような、分かりやすく認知症ケアの勉強ができればありがたいです。応用研修にも参加したいです。ありがとうございました。
2	講師の先生の分かりやすい説明。資料内容の具体的な話。グループワークの取り組み方。	
2	認知症であるからといって特別に対処するのではなく、一つのその人の個性であると考えて問題行動に現れる本人の心理を考えて接すること。	看取りに関する研修

Q1.研修について 1.十分理解できた 2.ほぼ理解できた 3.あまり理解できなかった 4.全く理解できなかった	Q1-2.具体的に	Q2.今後希望する研修など
2	認知症の人の今まで生きてきた習慣を活かすことが大事ということが分かりました。その人が今どんな思いでいるか、聞いてみる等。ケアする側がどうしたいかではなく、当事者がどうしたいかという姿勢でケアしていきたいと思いました。	
2	普段職場でしていることと、あまりにも間逆なことをお話されていて驚きました。自分たちが良かれと思ってやっていることと、利用者様がしてほしいことと相違ないように利用者様の気持ちを考えていきたいと思えます。	要支援の方の満足させ方
2	わかりやすく丁寧な説明が良かったです。なんでも噛み砕いて話をしてくださったのが良かったです。利用者様になりきるのとはとても良い方法だと思いました。	
2	スタッフ側で認知症の人に対してバリアをはっていないか。また改めて認知症の人が何を考えているかということを考える機会があったこと、「なるほど！」と思う場面が多くあった。やるかやらないかは自分次第。	講義を受けて理屈は理解できたが、スタッフのメンタルケア？等について知りたいと思った。
2	私自身、認知症ケアにかぎらず介護についての知識がなかったため、少し難しかったですが、話を聞き利用者の方について(以前何をされていたか)知りたくくなりました。また、ひもときシートは難しかったですが、周りの意見を聞く「なるほど」と思うことが多かったため、まだまだ考えることがたくさんあり、とても身になりました。	
2	認知症の方を一人の人として捉えるポイントとして、過去、どのような事をしてきたかを紐解いていくことが必要であること。	
2	認知症の問題行動はその方にとって何か理由があり行動しているということ。認知症のケアは「意味がない」「コミュニケーションがとれない」と決め付けたり、諦めることはせず、どのような理由があるか考えることが大切。	本日はありがとうございました。
2	演習と講義を交互に行うというのが新鮮でよかったです。また、様々な施設の方々色々なお話ができて、それぞれの施設で違う面も知れて面白かったです。認知症の捉え方も少し違う面から見ることができ、良かったと思いました。事例をとりあげてワークシートに考えて書くということがとても難しいと感じました。利用者本人に意志の確認等これからも確認してみたいと感じました。全体的にすごく考えさせられる研修だったと感じました。	認知症と記憶障害の違い、見分け方、考え方を学びたい。
3	私は講義を受けて問題行動というのには必ず利用者本人の行う理由というのがあるというのを学びました、働いている時は時間にも追われている中で利用者の問題行動に対し、どうしてこんな事を起こすの？等、利用者に対し反発的に否定したが、この講義を聞いて、この行動に対しても必ず理由があり、それは意味があって行っているというのを理解して必ずしも否定ばかりするだけではなく本人の行っている理由、そしてそれは昔の生活に繋がっているのだということを見つけ出して、その人それぞれのケアを見つけていければいいと思いました。	もう少し演習などを増やして聞いている人たちに、この講義の学びを伝えて欲しかったです。

Q1.研修について 1.十分理解できた 2.ほぼ理解できた 3.あまり理解できなかった 4.全く理解できなかった	Q1-2.具体的に	Q2.今後希望する研修など
1	先生の認知症の人の体験世界を聞いていた時は認知症の方の心の中はこんな風なのか…とぐっときました。職場では特殊な人として捉えていたのかもしれないと思いました。捉え方の変化や本人の気持ちになって考える必要性の大切さを感じました。	また認知症のケアを学びたいです。
2	自分の考え方を改めないといけないと思った。経験が浅いのでいろんな人の話を聞いてよかった。	
1	基本的に傾聴などが必要ではあるが、それだけでは続かない… ケアをもっと大きな目、大きな考えで行わなければ続けられないということは改めて気付くことができました。 対応・対処の「対」は壁である納得(感動)しました。	
1	認知症という言葉だけを知っている状態で初めて介護業界に入ったところ、自分が戸惑ってしまい、お客様へのケアが不十分であったことを反省し自分なりに「認知症」について勉強しています。 知識と経験は比例することなく、お客様一人ひとり違い文献通りではないこと、ケア手法としてあるものも、成果として表面に分かりやすく感じられないことで認知症のある方が不穏になられた時、その辛さを何とかしてあげることができないか…とばかり考えていました。 ひもときシートと心理的ニーズを今後使用し、一人ひとりの方を大切に寄り添っていけるよう自分の考えも改めていきます。最後の「彼」は実は赤ちゃんだったところ、介護が常時必要な「高齢者」だと思って聞いて想像をしていました。深く反省しました。気付かせて下さり、感謝します。たくさん努力します。	
2	全く身に覚えのない事で何か問われている感覚なのかもしれない。記憶障害。たばこを食べたのではなく、皿の上にあるものを食べた。生活背景、最近の家電等は分からない。手続き記憶を駆使。とても聞きごちのいい声でした。	
2	その方の人生観、生活習慣(世代により違う)、いろいろな面から考え思い込みのない相手はどんなことを感じているのか…話してみることから始めたい…今日学んだことを仕事で活かしていきたいと思う。ひもときシートは難しかった。	
2	有意義でした。ありがとうございました。	
2	認知症の方との関わり方で自分たち介護側から距離をとってしまっていることや、自分たちからみれば不可解な行動をとっていると感じて認知症の方にとっては意味のあることで逆に介護者の方の行動を不審に思っているため、話が噛み合わない事があるという考え方は、ものすごく勉強になりました。今までは認知症の人だから何をするか分からない等諦めのような感じで対応していたのですが、認知してもらえる物や状況、環境を提供することにより、残存機能が引き出せるという考え方をもち、職場で活用していこうと思いました。	認知症の症状を抑制する方法

Q1.研修について 1.十分理解できた 2.ほぼ理解できた 3.あまり理解できなかった 4.全く理解できなかった	Q1-2.具体的に	Q2.今後希望する研修など
	<p>認知症になっている人として関わるのではなく、一人の人として関わるのが大切ということを感じた。出会ったところが施設なだけ、出会った時に病気だったけという気持ちが大切。</p> <p>2 その人の気持ちになって考えることができるようにしていきたいです。</p>	
	<p>対応する認知(行動・心理)の裏側(本当の理由)を洞察すること。</p> <p>2 心理的にどのように行動ではなく、まず何故?どのような気持ちになっているか?を土台に考える。</p>	ケアプラン(IBF)
	<p>認知症ケアに欠かせない基本スキルとは基本的には個別の可能性を指向したケアを実践していくこと。以前やっていたからには通用しない。個別性を考えるために思考展開シートやひもときシートを活用し、考える。</p> <p>2</p>	ひもときシートや思考展開シートについての考え方を具体的に研修で実施していただきたい。
	<p>2 経験が長くても認知症の基本的な知識と新たに考えさせられる研修になりました。施設で少しでも活用できるようにしたいと思います。</p>	
	<p>2 認知症について具体的なケアではなく私たち自体の考え方や心の持ち様等、意識から変えていく必要がある。</p>	他施設など見学会があると参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。
	<p>認知症の方に対する考え方は今まで色々なことをやってきて、疑問点、問題点などが出てきて、失敗を繰り返してきたから、認知症の人に対する接し方が少しずつ分かってきているのだと思いました。今まで認知症の方たちが、どれだけ戸惑ってきて、理解されずに生きていたのかを考えさせられました。忙しさやスタッフの人数不足などを理由にするのは認知症の方と向い合っていなかっただけなのだと思います。少しでも認知症の方の気持ちを考え、その人らしく生活できるようにしていけたらと思いました。</p>	考え方の違う介護者とバランスをとって仕事するなど。
	<p>1 その場しのぎの対処法ではなく、その方のバックグラウンドに着目し残っている能力を発見し最大限活かす努力を行っていくケアの重要性を改めて認識いたしました。</p>	介護技術研修
	<p>2 認知症のケアは考えれば考えるだけ深く正解がないものに(たどりつかない)だと良く分かりました。一人の人のことを考えるにしても周りにも利用者様がいるので、一人の人のことだけを考えて対応するわけにもいかない。考えるだけで自分が混乱してしまうので現場で実践して一人一人のやり方を学んでいこうと思いました。</p>	
	<p>2 心理的ニーズについて良く分かった。答えがない。やっぱり相手の方の気持ちになって考えていかなければならないと思いました。自分ではこのようなケアが良いと思い込んでしまう事があると思うのでグループワーク等で違った意見が聞けて良かったです。</p>	今回は心理的な事が多かったので次は身体的な事で認知症の方の事をもっと深く知りたいです。
	<p>1 認知症に対して面倒だと思うこと自体間違이었다と感じました。今までの認知症の方に対しての対応にどんな改善策があったのだろうかと考えさせられました。「介護に正解はない」これからこれを心に一人一人に合ったケアを行える介護士、人間に成長していきたいです。</p>	

Q1.研修について 1.十分理解できた 2.ほぼ理解できた 3.あまり理解できなかった 4.全く理解できなかった	Q1-2.具体的に	Q2.今後希望する研修など
2	認知症の方との接し方以前の考え方を深く考えさせられました。世間(私たち)が捉え方を変えていけば自ずと答えに近づけると思いました。	
	忙しさ故にこの人はこういう人という固定観念ができていて、そこまで終わっていたことに気付かされました。また、違った観点で考えることができ、これからの看護、介護につなげていくことができる良い時間だったと思います。	純粋にその人と一対一で関わる時間を持って、その人の心を見ることができるよう、これから見方(捉え方)を変えていきたいと思えます。
1=10		
2=39		
3=2		
4=0		
未記入=4		